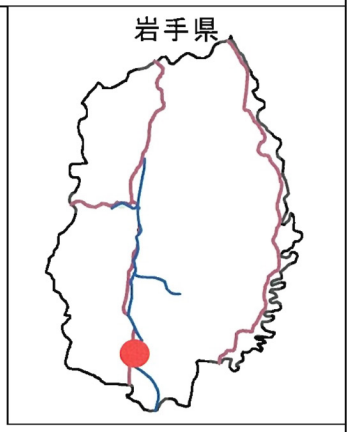
事業名	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（平泉地区）（直轄） （岩手県西磐井郡平泉町）
事業着手：平成17年度	
事業の必要性・事業の概要	



「事業の必要性」

平泉町は、奥州藤原氏ゆかりの地域であり、中尊寺や毛越寺等の文化遺産が数多く残っており、H20年の世界遺産登録を目指しています。

整備地区周辺には藤原氏の政庁と考えられる柳之御所跡が発掘され、一関遊水地、国道４号バイパス事業においてもこの遺跡を保全しながら進めています。町では史跡公園として整備を進めており、既に「柳之御所資料館」開館するなど北上川を機軸に歴史・文化や自然等を素材とした地域の人々の交流ネットワークの拠点整備が進められ、河川としても連携して整備する必要があります。

「事業の概要」

町・国等と関連事業との連携を図ると共に周辺景観と調和し、訪れた人々が水辺で楽しめる河川の親水空間の創出と、自然を残した河川に親しめるよう散策路や親水護岸、船着き場などの整備を実施していきます。







事　業　効　果

○世界文化遺産にふさわしい史跡公園と調和が図られた空間の創出
○北上川の歴史回廊構想として舟運等を活用した水辺利用者の増加
○周辺関連事業と連携を図った整備による水辺への観光客の誘客

施策名	みなとオアシス制度の推進 （山形県酒田（さかた）市　他　認定箇所）
施策着手：平成17年度	
施策の必要性・施策の概要	

「施策の必要性」

みなとは古くから「ひと」や「もの」が行き交う交流の拠点として賑わってきました。しかし、近年のみなとは経済活動拠点としての色合いが濃くなり、人々が近寄りがたい空間となっていることも否めません。

そのようなみなとにおいて、人々が憩い、賑わい、潤える空間が今、求められています。

「施策の概要」

「みなとオアシス制度」は、交流施設、旅客ターミナル、緑地、マリーナ等のみなとの地域や施設と、住民参加による地域振興につながる取り組みを「みなとオアシス」として認定することで、みなとに「憩い」、「安らぎ」、「交流」、「潤い」、「賑わい」を創出し、みなとを核とした住民主体の地域づくりを一層活発にしようというものです。認定した「みなとオアシス」に対して、各種提供サービスや祭り、イベント等の地域振興につながる取り組み等を、ホームページやポスター、各種イベント等で広くPRする等の支援を行います。

パソコン、携帯電話対応HPによるPR
（季節毎のイベント開催等タイムリーな情報提供）
（H17.8.12開設、http://www.minato-oasis.com）



“みなとオアシス”認定箇所▼





みなとオアシス酒田の構成施設▲



パンフレットによるPR▲

施　策　の　効　果

○人々が憩い、賑わい、潤える空間を十分に活用することによって、地域の活性化が図られます。

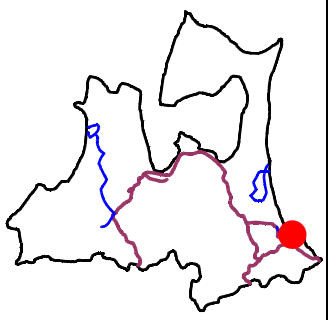
美しい東北の実現　東北らしい自然環境との共生

事業名　八戸港河原木地区（はちのへかわらぎ）　港湾環境整備事業〔沼館（ぬまだて）〕（補助：事業主体　青森県）
（青森県八戸市）

事業着手：平成 8 年度

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

八戸港河原木地区は、港湾施設の老朽化や他地区への機能移転などにより活況が薄れ、遊休地が生じていることから、沼館地区一帯を再開発地区として都市計画決定し、ウォーターフロントを活用し、まちづくりと一体とした市民が集い、憩い、賑わう複合空間の創出を目標とした環境整備（緑地面積24,300㎡）が求められています。

「事業の概要」

ウォーターフロントを活用した市民が集い、憩い、賑わう複合空間の創出として水辺にはボードウォークを配し、また、対岸の工業地帯から商業地帯への急激な変化を緩和する役割として植栽、築山等を配した環境整備を行っています。



▲八戸港河原木地区〔沼館〕

▼整備イメージ図



事　業　効　果

当緑地を含む一帯は、再開発地域として大規模商業施設等多くの商業施設が立地し、また、今後もさらに立地する予定であり、集客性の高い地域へと変化してきています。

また、当緑地は暫定的に一部供用しており、周辺商業施設等からの来訪者を含め当緑地利用者も増加してきていることから、市民が集い、憩い、賑わう複合空間としての効果が見られます。

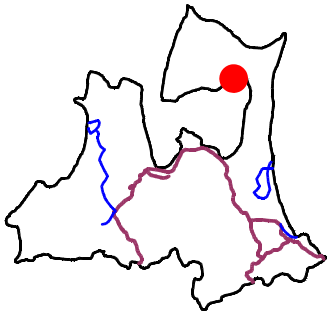
美しい東北の実現　**東北らしい自然環境との共生**

事業名	大湊（おおみなと）港海岸大湊（おおみなと）地区　侵食対策事業（補助：事業主体　青森県） （青森県むつ市）

事業着手：平成12年度

事業の必要性・事業の概要

青森県

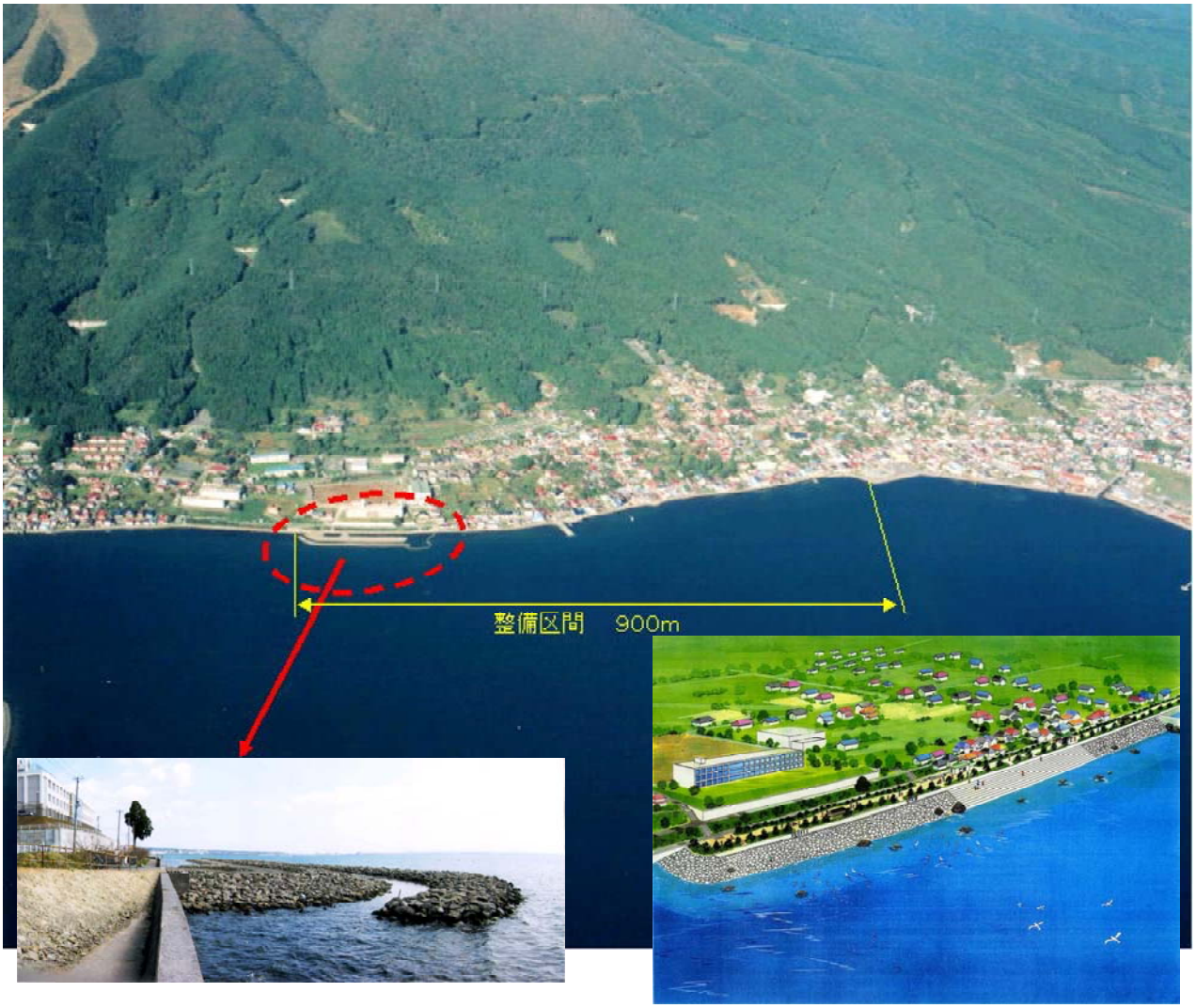


「事業の必要性」

既設の直立護岸は昭和43～48年度に建設され、基礎部の洗掘、ひび割れ等の老朽化が著しい状況にあります。現在、背後に人家が密集しており防災対策上から老朽化対策が急務となっております。さらに近年、地域住民から海と親しめる豊かな生活空間の復活も求められております。また、天然記念物のコクガンの生息地でもあることから当該事業により海岸防護と併せて、「エコ・コースト事業」の導入により生態系など自然環境にも配慮した整備が必要です。

「事業の概要」

国土保全、人命・財産等の保護と海域環境保全を行う侵食対策事業です。



事　業　効　果

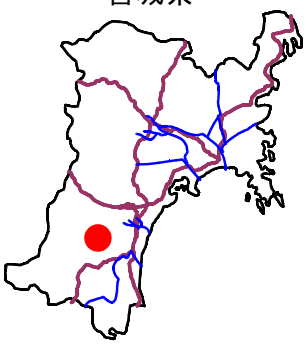
○防護される面積　・・・・　（着工前）0ha　→　（完成後）約15ha

事業名	草原エリア整備事業（国営みちのく杜の湖畔公園Ⅱ期地区（直轄）） （宮城県柴田郡川崎町）

事業着手：平成16年度

事業の必要性・事業の概要

宮城県



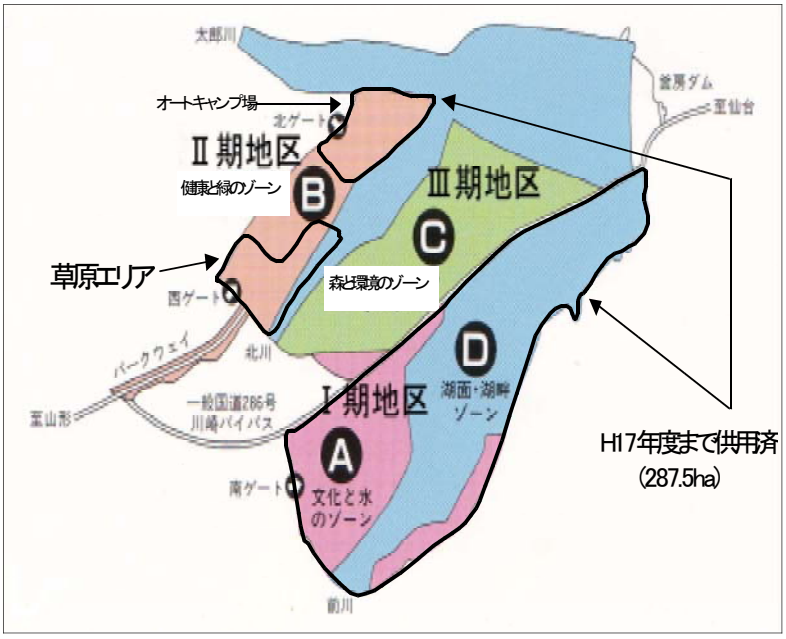
「事業の必要性」

南東北の広域的レクリエーション需要とみちのくの豊かな自然環境を活用し子供から高齢者・障害者も含めた幅広い層を対象に、広々とした自然環境の中で様々な人と交流しながら、心身の健康づくりや健康回復に役立つ屋外レクリエーションの場として、Ⅱ期地区「健康と緑のゾーン」に、草原エリアの整備を推進します。

「事業の概要」

河岸段丘の広がりを利用した野原の形成や水辺の良好な景観を生かした自然体験・健康レクリエーションなど多様な活動に対応できる場を整備します。

＜国営みちのく杜の湖畔公園概要図＞



＜水辺での自然体験＞（イメージ）





＜様々な利用に対応する草原エリア＞（イメージ）







事　業　効　果

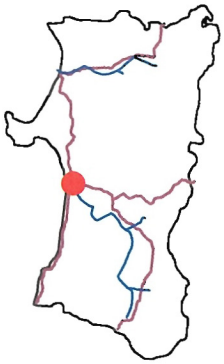
○広々とした野原と水辺の自然的な景観が再生されます。
○自然を生かした様々なレクリエーションによる心身の健康づくりや健康回復、環境学習に役立ちます。
○都市近郊の大規模公園として、県内および近隣県から多数の利用者が訪れ、交流拠点として地域活性化等を支援します。

事業名	都市公園整備事業　北野田（きたのだ）公園（補助：事業主体　秋田市） （秋田県秋田（あきた）市）

事業着手：平成14年度

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

本公園整備地域周辺は、地域住民がスポーツ・レクリエーションや憩いを享受できる都市公園の整備水準が低く、既存の公園配置も利用圏を考慮したものになっていないため、地域住民等が気軽に利用でき、市民交流の拠点となりうる公園整備が必要です。

「事業の概要」

本公園は秋田市の南部に位置し、地域住民のスポーツ・レクリエーションや憩いの場に加えて、平成19年秋田わか杉国体における硬式テニス競技会場としての活用を図ることを目的に整備を進めています。

＜北野田公園屋根付多目的広場完成予想図＞



＜北野田公園平面図＞



事　業　効　果

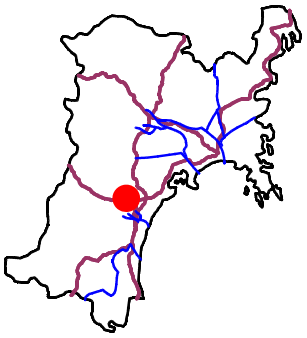
○スポーツ・レクリエーション活動が活発化し、地域交流の拠点となります。
○屋根付多目的広場を整備するため冬期間でもスポーツを楽しむことが出来ます。

事業名	合流式下水道緊急改善事業（補助） （宮城県仙台市　ほか１１市）

事業着手：平成16年度（仙台市）

事業の必要性・事業の概要

宮城県



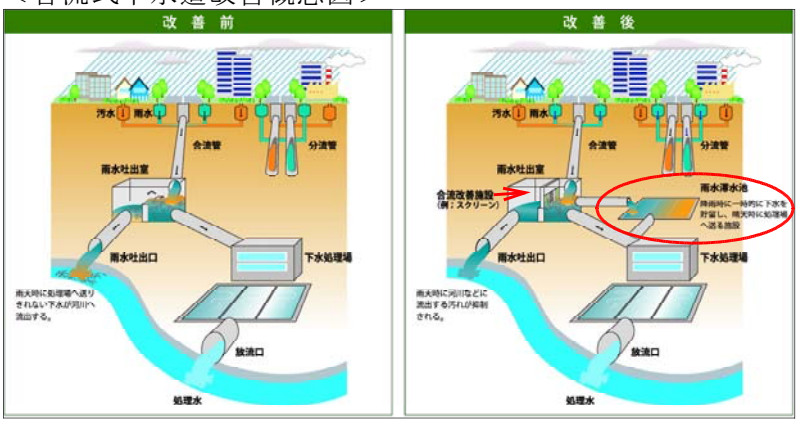
「事業の必要性」

合流式下水道では、大雨時において未処理の汚水が雨水とともに公共用水域に排出され、水質汚濁や悪臭の発生、公衆衛生上の観点から大きな問題となっており、合流式下水道の改善対策を緊急的に実施することが必要となっております。

「事業の概要」

大雨時の越流水による夾雑物（きょうざつぶつ）・水質改善対策として、雨水吐にスクリーンを設置したり、越流水量の抑制対策として雨水滞水池・雨水貯留管・雨水浸透桝などを整備します。

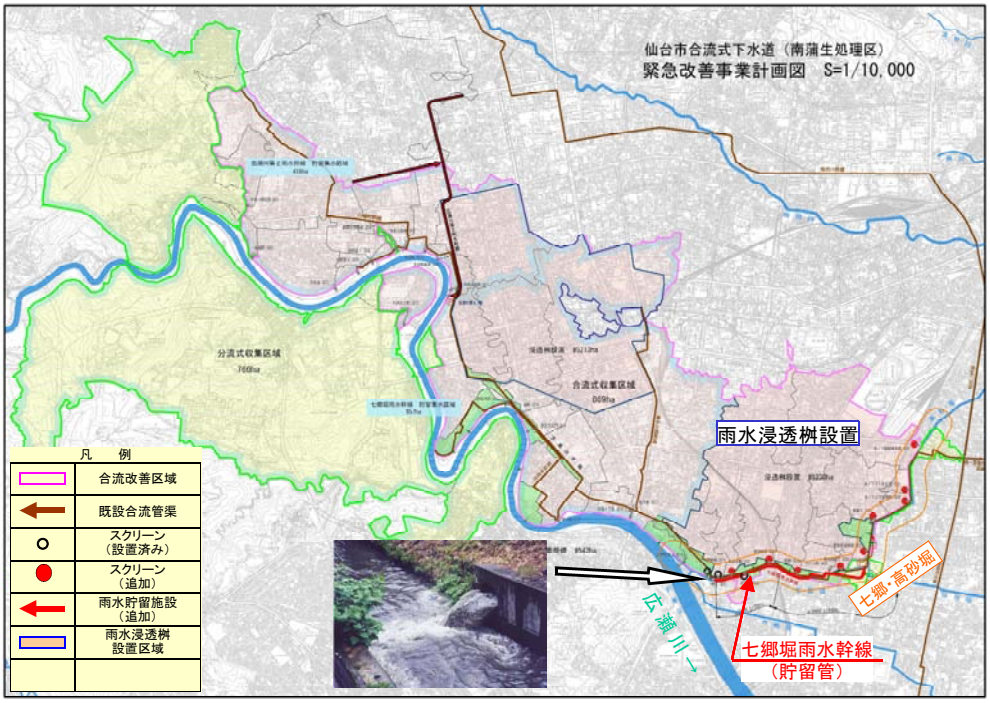
＜合流式下水道改善概念図＞



実施市名

青森県	弘前市、八戸市
岩手県	盛岡市、釜石市
宮城県	仙台市
秋田県	秋田市、能代市
山形県	酒田市
福島県	福島市、郡山市、 いわき市、原町市

＜仙台市事業概要図＞



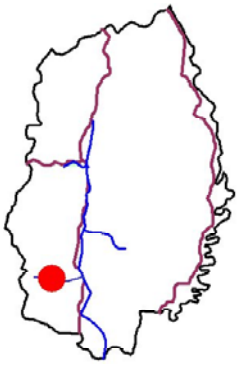
事　業　効　果

○通常の下水道整備に加え合流式下水道緊急改善事業を実施し、東北地方の水環境保全に寄与します。

事業名	胆沢ダム建設事業（直轄） （岩手県胆沢郡胆沢町）
事業着手：昭和５８年度	

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川の右支川胆沢川の上流胆沢町若柳地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：14,300万m^3　・高さ：132.0m　・堤頂長：723.0m

・堤体積：1,350万m^3　・ダム型式：ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯

平成14～16年度　　堤体基礎掘削工事

平成17年秋　　堤体盛立着手予定

○　総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度

（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の胆沢ダム ＜下流上空から＞

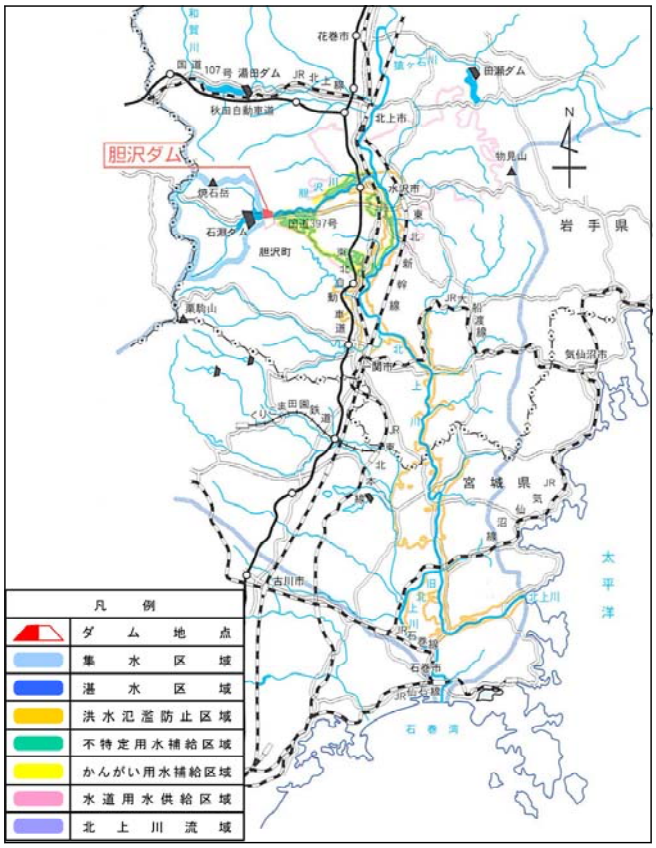


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成17年6月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H14.7洪水）



胆沢ダム計画概要図



事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100m^3/sのうち1,830m^3/sをダムに貯め、270m^3/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。

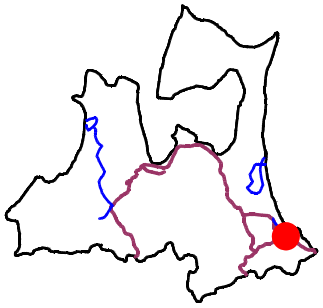
○　また、胆江広域水道企業団への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

事業名	八戸久慈自動車道　一般国道45号　八戸南道路（直轄） （青森県八戸市～三戸郡階上町）

事業着手：平成7年度

事業の必要性・事業の概要

青森県



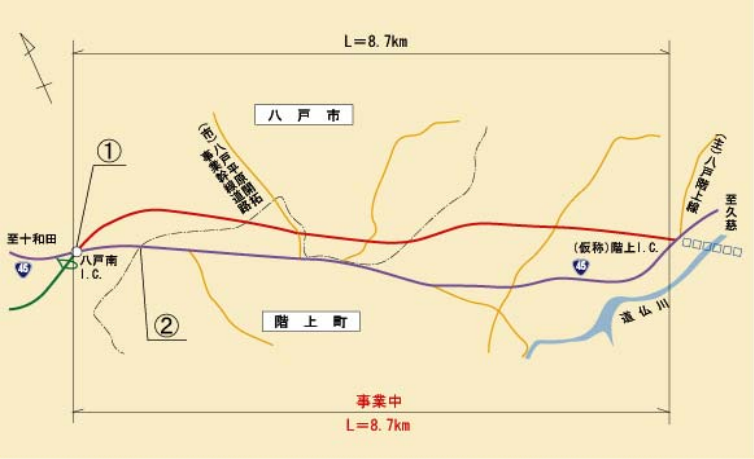
「事業の必要性」

一般国道45号における当該区間は、青森県内第2の都市である八戸市と結びつきの強い階上町をはじめ、三陸沿岸の岩手県北地域とをつなぐ重要な区間となっていることから、交通が集中し、信号交差点付近を中心に渋滞が発生しています。

また、周辺地域を南北に結ぶ唯一の幹線道路であることから、災害時における信頼性の高い緊急輸送路の確保が求められているなど、早急の対策が必要となっています。

「事業の概要」

八戸南道路は、八戸市－久慈市間を結ぶ「八戸久慈自動車道」の一部を構成し、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長8．7kmのバイパス事業です。また、「CO_2削減アクションプログラム」に位置づけることによって、当該区間における主要渋滞ポイント「大 開交差点」の解消によるCO_2排出の抑制を図ります。

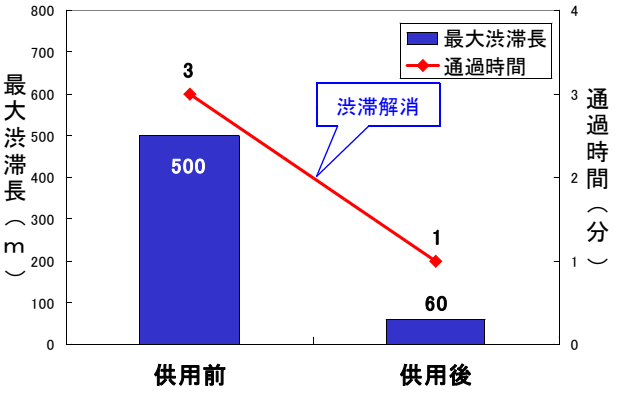




▲①国道45号大 開交差点の渋滞状況
（八戸市大字妙地内）



▲②大雨により冠水した国道45号
（八戸市大字大久保地内）



▲大 開交差点渋滞長・通過時間の推移（休日：下り）

大 開交差点の渋滞解消によるCO_2削減量
約1,700t－CO_2/年

事　業　効　果

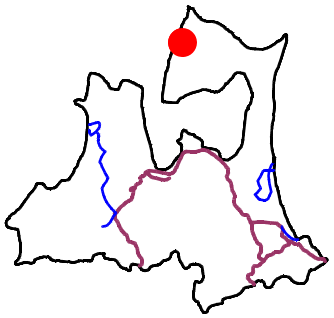
○大 開交差点の渋滞解消　最大渋滞長500m→60m　通過時間 3分→1分
○階上町方面から八戸ICへのアクセス向上　26分→23分　3分短縮
○大 開交差点の渋滞解消により、CO_2約1,700t－CO_2/年削減、同等の効果を樹木によるCO_2吸収で得るためには167haの植樹が必要
○災害時の緊急輸送路の確保

事業名	佐井村（さいむら）特定環境保全公共下水道（補助：事業主体　佐井村） （青森県下北郡佐井村）

事業着手：平成10年度

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等に資するため、事業を促進しているところですが、東北地方における処理人口普及率は53.6%（平成16年度末）と全国平均（68.1%）を大きく下回っています。

特に人口5万人未満の市町村の普及率は36.9%と低く、未だ下水道を使用していない町村もあるため、早期供用開始に向け効率的・効果的な整備促進が必要となっています。

処理人口普及率(平成16年度末)

県名	処理人口	普及率
青森県	691,151	47.1%
岩手県	619,333	44.3%
宮城県	1,695,521	72.2%
秋田県	575,146	49.4%
山形県	754,996	61.9%
福島県	864,743	41.0%
東北合計	5,200,890	53.6%
全国合計	86,364,579	68.1%

「事業の概要」

汚水処理の普及促進を図るため、管渠や処理場の整備促進を図ります。



＜(仮称)佐井浄化センター＞

＜佐井村下水道処理区域平面図＞

事　業　効　果

○新たに下水道を使用できる人口が増加し、生活環境の向上や公共用水域の水質改善が図られます。